

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 4,415 人で、前年の 4,473 人から 58 人減少し、出生率（人口千対）は 6.7 で、前年の 6.8 を下回った（全国第 16 位）。

合計特殊出生率は 1.62 で、前年の 1.6 を上回り、全国第 4 位（昨年は 6 位）であった。第 1 位は沖縄県（1.80）、第 2 位は鹿児島県（1.65）、第 3 位は宮崎県（1.64）、第 4 位は島根県（1.62）、第 5 位は長崎県（1.60）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は 9,847 人で、前年の 9,585 人から 262 人増加した。死亡率（人口千対）は 15.0 で、前年の 14.5 から 0.5 増加した（全国第 4 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 25.8%、13.7%、12.4%である。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△5,432 人で、前年の△5,112 人から減少数が 320 人増加し、自然増減率（人口千対）は△8.3 で、前年の△7.7 より減少率が 0.6 増加した（全国第 38 位）。本県では平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

(4) 死産数は減少

死産数は 80 胎で前年の 91 胎より 11 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 17.8 で、前年の 19.9 を下回った。死産率のうち、自然死産率は 9.6（前年は 13.1）、人工死産率は 8.2（前年は 6.8）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,336 組で、前年の 2,398 組から 62 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.6 で、前年の 3.6 と同じであった（全国第 30 位）。

平均初婚年齢は夫 30.4 歳、妻 29.0 歳で、夫は前年より 0.1 歳上昇、妻も前年より 0.1 歳上昇した（全国平均は夫 31.0 歳、妻 29.5 歳で、夫

は前年と同じ、妻は前年より 0.1 歳上昇した)。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は 863 組で、前年の 877 組から 14 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.32 で前年の 1.32 と同じであった（全国第 41 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	令和3年	令和2年	対前年増減	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
出生	4,415	4,473	△ 58	6.7	6.8	1時間59分2秒	1時間57分30秒
死亡	9,847	9,585	262	15.0	14.5	53分22秒	54分50秒
乳児死亡	4	12	△ 8	0.9	2.7	91日6時間	30日10時間
新生児死亡	1	8	△ 7	0.2	1.8	365日	45日15時間
自然増減	△ 5,432	△ 5,112	△ 320	△ 8.3	△ 7.7
死産	80	91	△ 11	17.8	19.9	4日13時間30分	4日15分49秒
自然死産	43	60	△ 17	9.6	13.1	8日11時間43分15秒	6日2時間
人工死産	37	31	6	8.2	6.8	9日20時間45分24秒	11日18時間34分50秒
周産期死亡	13	24	△ 11	2.9	5.3	28日1時間50分46秒	15日5時間
妊娠22週以後の死産	12	18	△ 6	2.7	4.0	30日10時間	20日6時間40分
早期新生児死亡	1	6	△ 5	0.2	1.3	365日	60日20時間
婚姻	2,336	2,398	△ 62	3.6	3.6	3時間45分	3時間39分10秒
離婚	863	877	△ 14	1.32	1.32	10時間9分2秒	9時間59分18秒

	令和3年	令和2年
合計特殊出生率*	1.62	1.60

*分母に用いた人口
5歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。